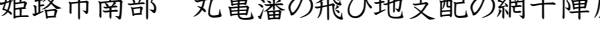


名称	昭和の集会所
本作のモデルとなったのは兵庫県姫路市夢前町で見かけた集会所です。戦後すぐ位にできた建物のように見受けました。昭和50年代頃まではこのような建物あちこちで見かけましたが、今では建て替えが進んだのかあまり見かけなくなったように思います。作品はs号和40年代の集会所をイメージして、公衆電話ボックスもセットにしています。	
	
	

所在地	姫路市内の江戸時代の陣屋跡
姫路といえば世界遺産姫路城があまりにも有名ですが、じつは姫路市内には姫路藩の他にもいくつかの大名(石高1万石以上の殿さま)の陣屋がありました。市内に複数の藩が存在したってちょっと珍しいのでは？と思いますここで紹介します。	
	
姫路市中部の建部氏1万石の 林田藩陣屋	
	
同じく姫路市北部小笠原氏1万石の安志藩陣屋	
	
姫路市南部 丸亀藩の飛び地支配の網干陣屋	
	

モデルとなった集会所(姫路市夢前町)
この集会所を見かけたのは令和4年10月、姫路市安富町にある日本で2番目？に古い「古井家住宅」に向かう途中に偶然見かけた建物です。 なにか懐かしさを感じさせる集会所でした。